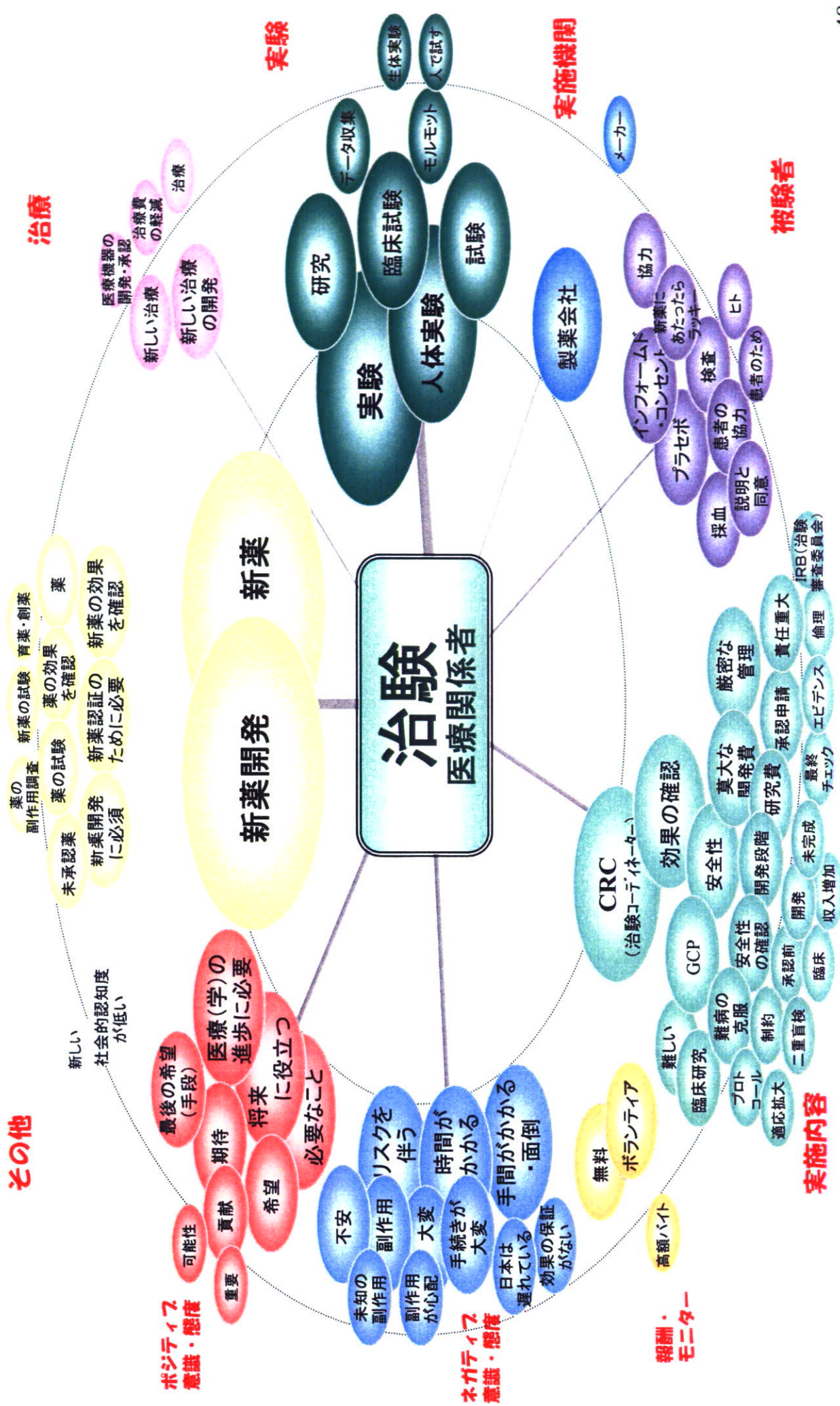


「治験」からの連想 <医療関係者>

薬

(246ss)



薬

ポジティブスコアの高い連想ワード・・・
ネガティブスコアの高い連想ワード・・・

その他

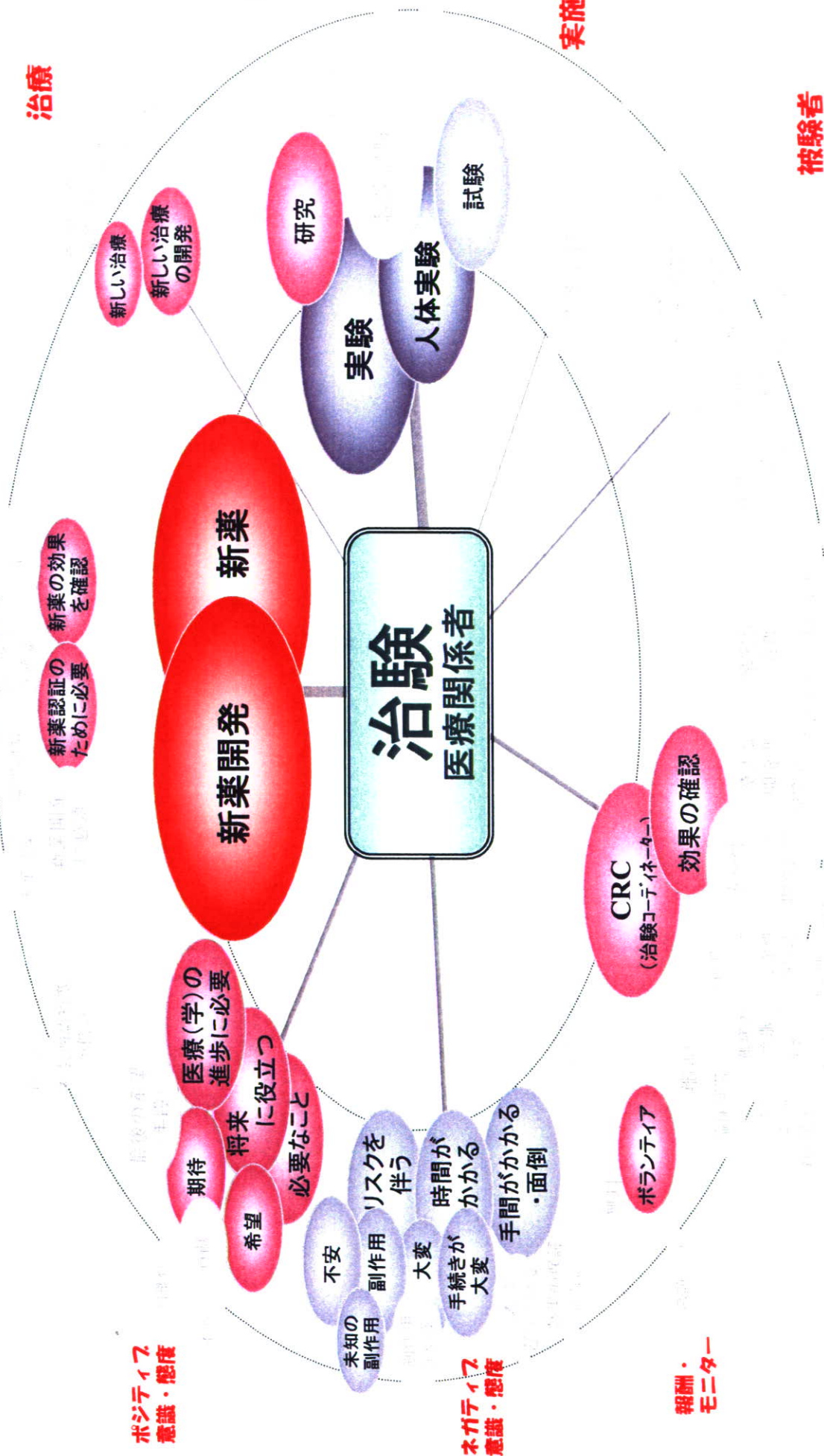
治療

実験

実施機関

被験者

実施内容



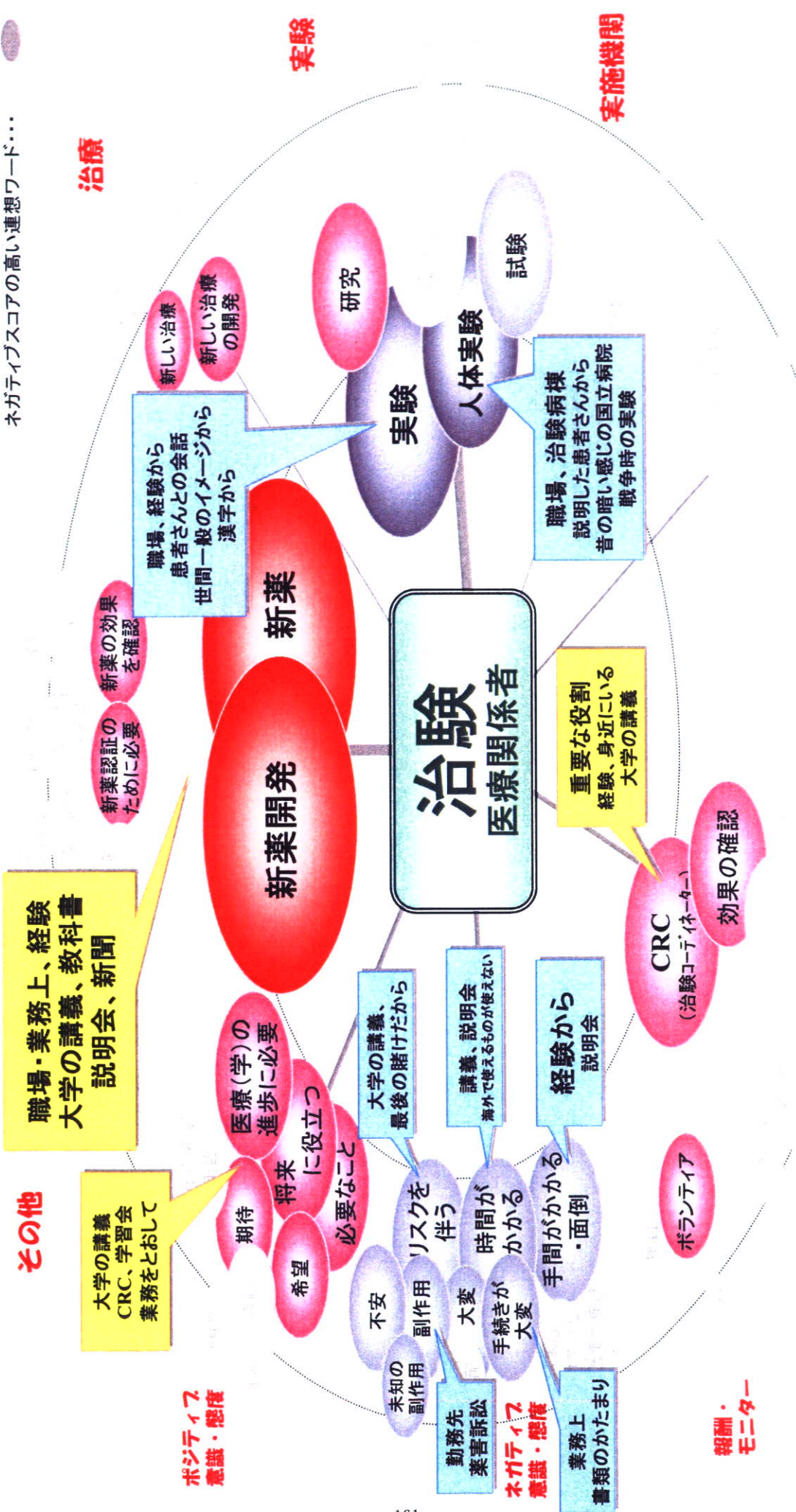
ポジティブ
意識・態度

ネガティブ
意識・態度

報酬・
モニター

薬

ポジティブスコアの高い連想ワード・・・
ネガティブスコアの高い連想ワード・・・



治療

実験

実施機関

被験者

実施内容

「治療」からの連想ワード分析 <医療関係者>

■連想ワードのポジティブ・ネガティブ評価では、ポジティブ率が高く35%、ネガティブ率の倍近くになっている。

■「治療」に関する連想は少ない。

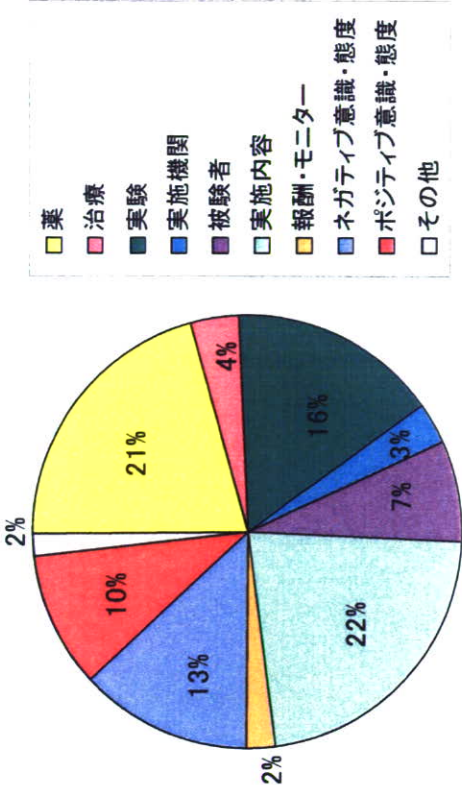
<連想ワード総数 575 一人当たり2.2ワード>

【連想ワードのポジ・ネガ分析】

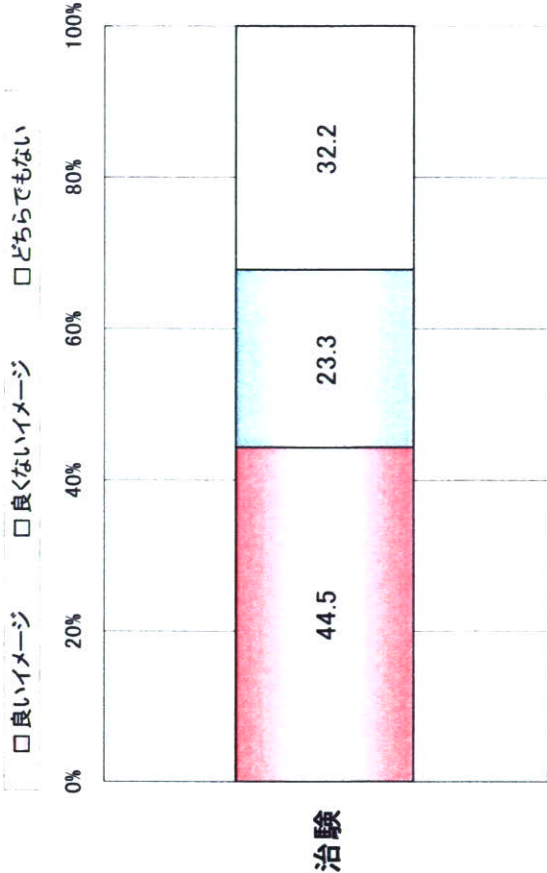
「治療」連想ワード	PNスコア
新薬	32
新薬開発	32
医療(学)の進歩に必要	10
CRC(治療コーディネーター)	9
希望	7
期待	7
将来に役立つ	7
効果の確認	6
新薬認証のために必要	6
必要なこと	5
ボランティア	4
研究	4
新しい治療	4
新しい治療の開発	4
新薬の効果を確認	4
大変	-4
未知の副作用	-4
試験	-5
時間がかかる	-5
不安	-5
副作用	-5
手続きが大変	-6
手間がかかる・面倒	-7
リスクを伴う	-8
人体実験	-14
実験	-16

(246ss)

【連想ワードのカテゴリー分類】



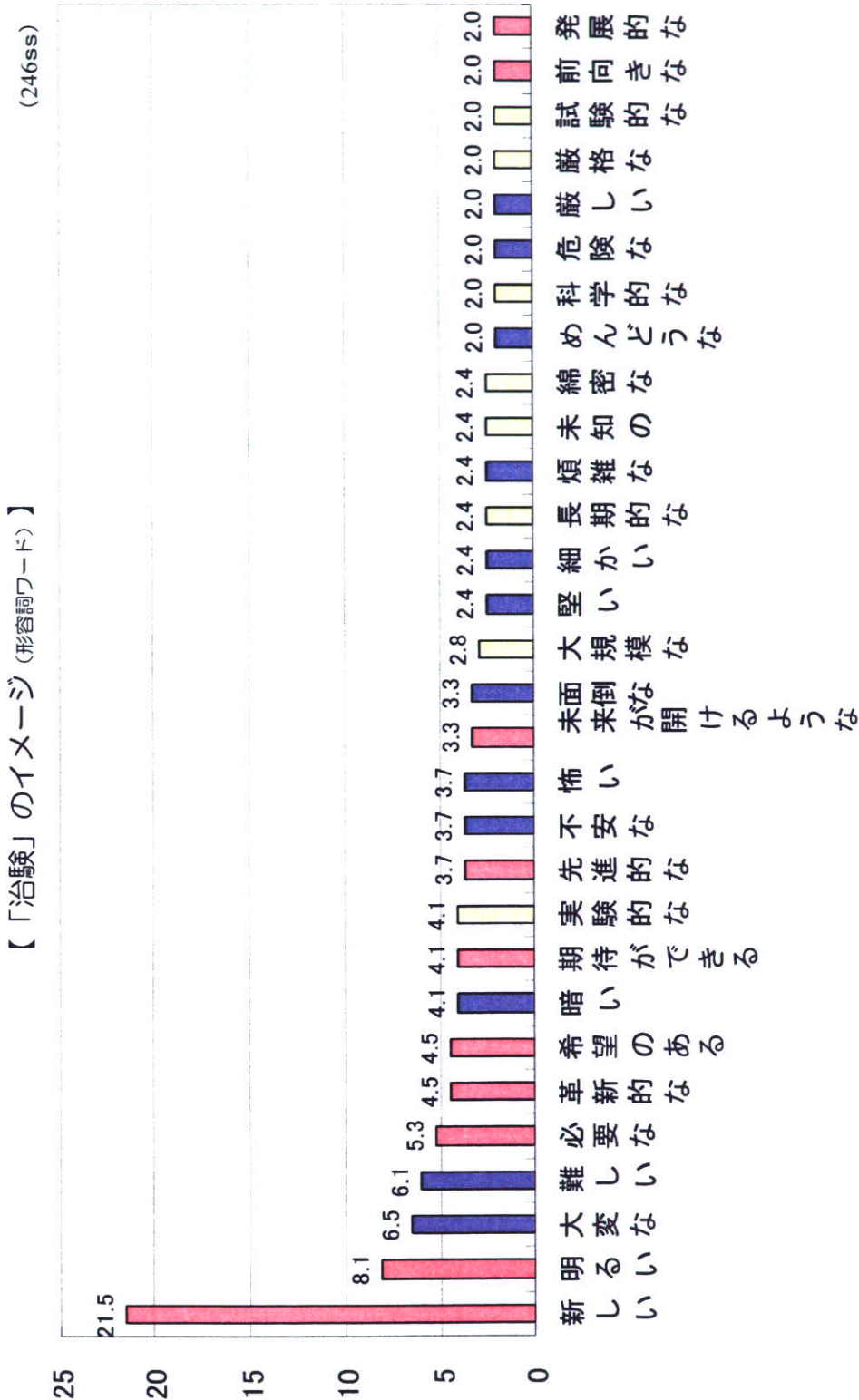
【連想ワードのポジ・ネガ <全体>】



「治験」のイメージ <形容詞での連想> <疾患者>

Q4 あなたが「治験」という言葉から受けるイメージを形容詞で表現してください。

- 形容詞的な言葉で「治験」のイメージを表現してもらくと、最も多い言葉は「新しい」、ついで「明るい」
- 上位には「大変な」「難しい」という言葉も並ぶ。



医療関係者がもつ「治験」のイメージ（まとめ）

- 「治験」から連想する言葉は、一人当たり平均2.2ワードと一般生活者、疾患者に比べると多い。
- 最も多く連想された言葉は「新薬開発」と「新薬」、次いで「実験」「人体実験」「治験コーディネーター」である。
- 連想ワード全体で見ると、45%がポジティブ、23%がネガティブな言葉になっている。
- 一般生活者や疾患者で多かった「治療」に関連する連想は少なく、「薬」カテゴリー（特に新薬）と「実施内容」カテゴリーの言葉が多い。
- ポジティブ意識が高い連想ワードは、「新薬開発」と「新薬」である。また「医療(学)の進歩に必要」「CRC」「希望」「期待」「将来に役立つ」などである。
これらのポジティブワードの連想の源泉は、職場・業務上、経験、大学の講義、教科書、説明会、新聞などである。
- ネガティブ意識が高いワードは、「実験」「人体実験」などである。これらの連想の源泉には、「患者との会話」「世間一般のイメージ」など、自身のイメージではなく他からどう見られているかの視点が入っている。
- 社会的、医療的な貢献についてのポジティブワードが多い一方で、「時間がかかる」「手間がかかる・面倒」「手続きが大変」といった実施上の煩雑さを嘆くような言葉が多い。
- 形容詞表現におけるイメージでも、「明るい」がダントツに多く、次いで「明るい」のあとに「大変な」「難しい」などの表現が続いている。

「治験」の情報ルート、参加意向 ～「連想」以外の質問～

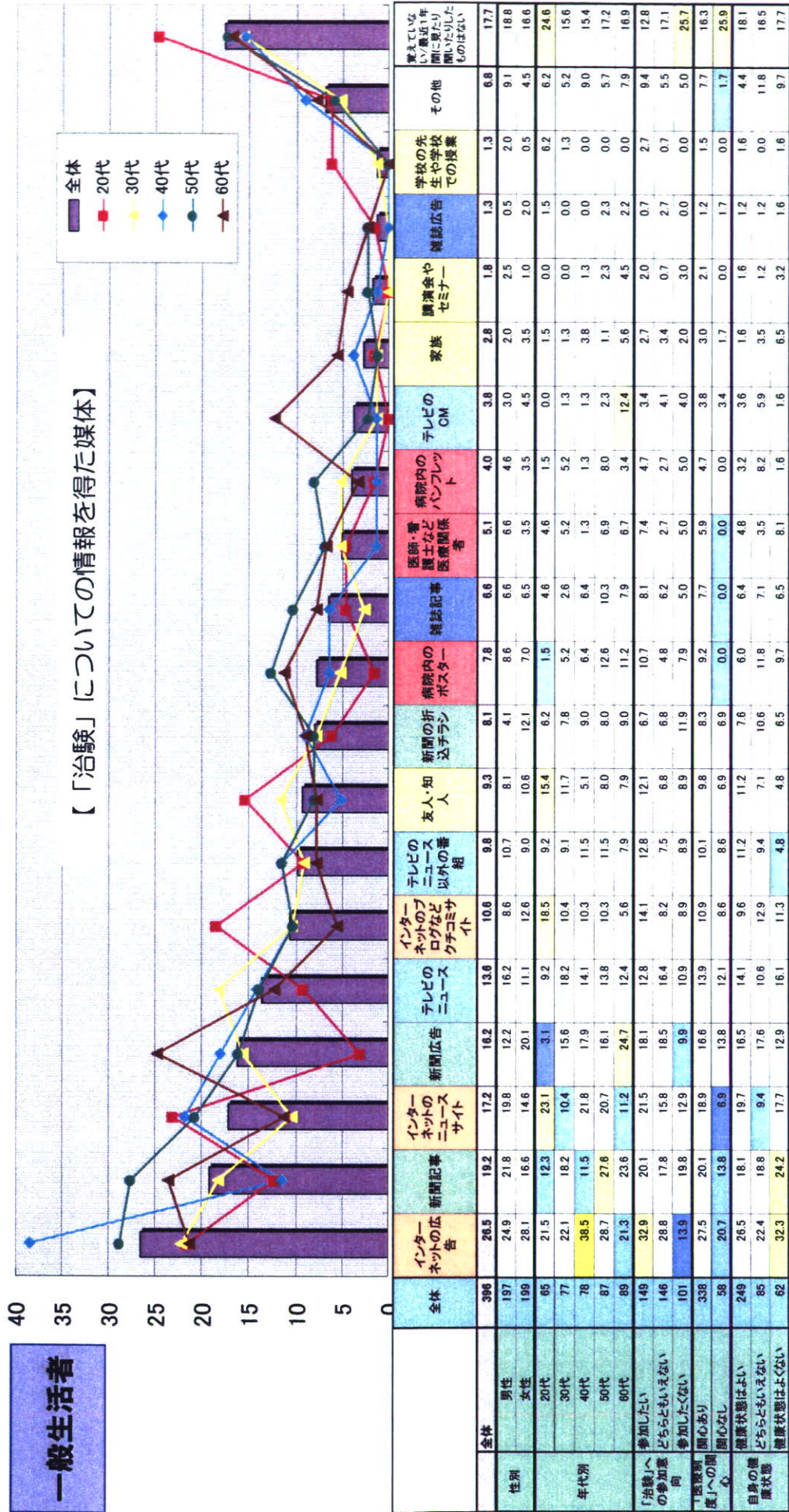
「治験」の情報を得た媒体
得たい媒体

「治験」についての情報を得た媒体 <一般生活者>

Q7 あなたは、「治験」についての情報をどこで得ましたか？最近1年間にについて見たり聞いたりしたものを以下の中からすべてお答えください。

■「治験」についての情報源は「インターネットの広告」が最も多く、次いで「新聞記事」「インターネットのニュースサイト」と、現状ではネットの役割が大きくなっている。

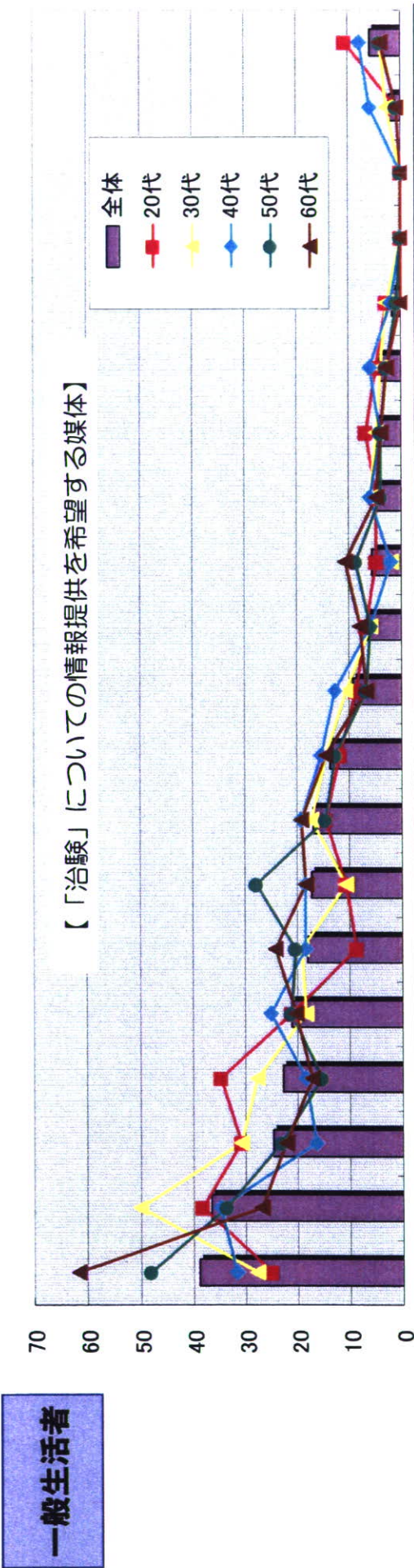
■特に40代がネット広告をよくみている。60代以上の高齢者は「新聞」と「テレビCM」が重要、20代では「新聞広告」は見えておらずネットの中でも「ブログ」を重視するとともに「友人・知人」のクチコミがきている。



「治験」についての情報提供を希望する媒体 <一般生活者>

Q13 あなたは、「治験」についての情報をどのような方法で知らせてほしいと思いますか？以下の中から適切なものを3つまで選んでください。

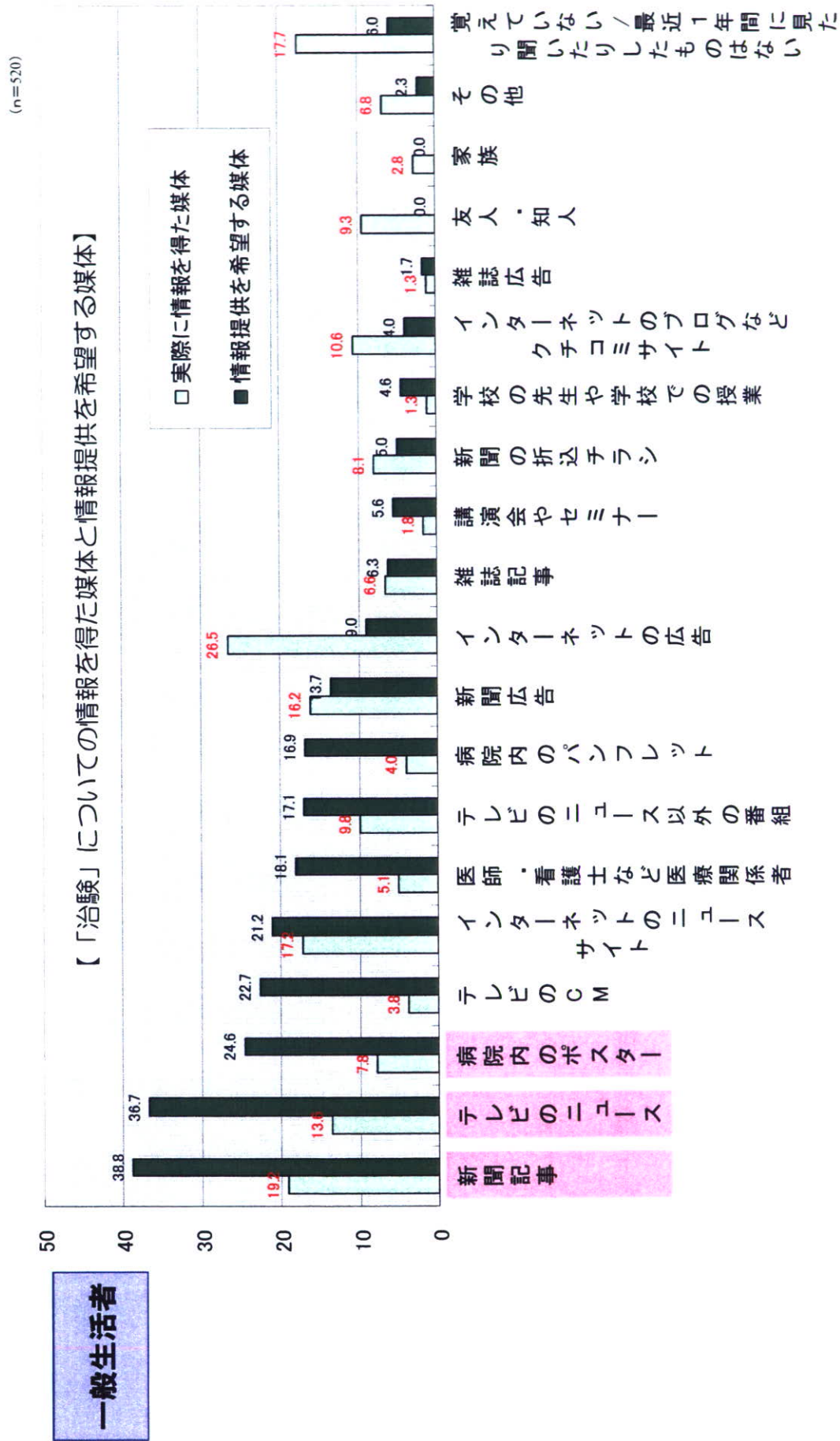
- 「治験」について今後、情報提供を希望する媒体は、「新聞記事」「テレビのニュース」が多く、まずはマスメディアで知らせて欲しいというニーズがある。次いで「病院内のポスター」が望まれている。
- 特に50代・60代以上は「新聞記事」を希望、20代30代は「テレビのニュース」「テレビのCM」「病院内のポスター」を希望、50代では「テレビのニュース以外の番組」も期待されている。



	全体	新聞記事	テレビのニュース	病院内のポスター	テレビのCM	インターネットのニュースサイト	医師・看護師など医療関係者	テレビのニュース以外の番組	病院内のパンフレット	新聞広告	インターネットの広告	雑誌記事	講演会やセミナー	新聞の折込チラシ	学校の先生や学校での授業	インターネットのブログや動画サイト	雑誌広告	家族	友人・知人	その他	特になし	
	全体	520	38.8	36.7	24.6	22.7	21.2	18.1	17.1	16.9	13.7	9.0	6.3	5.6	5.0	4.6	4.0	0.0	0.0	2.3	6.0	
性別	男性	280	38.8	30.8	22.7	19.6	23.1	17.7	15.8	11.9	14.6	9.6	8.8	4.2	3.5	5.4	4.2	0.0	0.0	4.2	10.0	
	女性	240	38.8	42.7	26.5	25.8	19.2	18.5	18.5	21.9	12.7	8.5	3.8	6.5	6.5	3.8	3.8	0.0	0.0	0.4	1.9	
	20代	104	25.0	38.5	30.8	34.6	21.2	8.7	10.6	14.4	11.5	8.7	6.7	4.8	4.8	6.7	4.8	0.0	0.0	1.0	10.6	
年代別	30代	104	27.9	50.0	30.8	27.9	18.3	19.2	10.6	17.3	14.4	10.6	5.8	1.9	5.8	4.8	3.8	0.0	0.0	2.9	3.8	
	40代	104	31.7	34.6	16.3	18.3	25.0	18.3	19.2	15.4	12.5	12.5	5.8	1.9	5.8	3.8	5.8	0.0	0.0	5.8	7.7	
	50代	104	48.1	33.7	23.1	15.4	21.2	20.2	27.9	14.4	12.5	6.7	5.8	8.7	3.8	3.8	2.9	0.0	0.0	1.0	3.8	
	60代	104	61.5	26.9	22.1	17.3	20.2	24.0	18.3	19.2	14.4	6.7	7.7	10.6	4.8	3.8	2.9	0.0	0.0	1.0	3.8	
「治験」への参加意向	参加したい	185	35.2	27.9	23.6	24.8	26.1	17.6	12.7	17.6	18.2	19.4	5.5	5.5	4.2	4.2	6.1	0.0	0.0	3.0	1.8	
	どちらともいえない	194	37.6	39.2	26.8	23.2	21.1	19.1	19.6	16.5	12.9	4.6	5.7	4.1	5.7	4.1	3.1	1.0	0.0	2.1	6.2	
	参加したくない	161	44.1	42.9	23.0	19.9	16.1	17.4	18.6	16.8	9.9	3.7	8.1	4.3	3.7	5.6	3.1	0.0	0.0	1.9	9.9	
「医療制度」への関心	関心あり	429	40.1	37.5	24.5	23.5	21.4	19.1	18.2	17.7	14.5	9.8	7.0	6.3	4.7	4.7	4.4	0.0	0.0	2.6	3.5	
	関心なし	91	33.0	33.0	25.3	18.7	19.8	13.2	12.1	13.2	9.9	5.5	3.3	2.2	6.6	4.4	2.2	1.1	0.0	0.0	1.1	
自身の健康状態	健康状態はよい	326	37.7	35.9	25.5	23.3	21.2	16.9	18.7	15.0	14.4	10.4	7.1	5.5	5.5	4.3	3.1	2.5	0.0	0.0	1.8	5.8
	どちらともいえない	116	40.5	45.7	23.3	21.6	17.2	19.8	13.8	19.0	11.2	5.2	4.3	6.9	4.3	3.4	5.2	0.0	0.0	3.4	6.9	
	健康状態はよくない	78	41.0	26.9	23.1	21.8	26.9	20.5	15.4	21.8	14.1	9.0	6.4	3.8	3.8	7.7	6.4	1.3	0.0	0.0	2.6	5.1

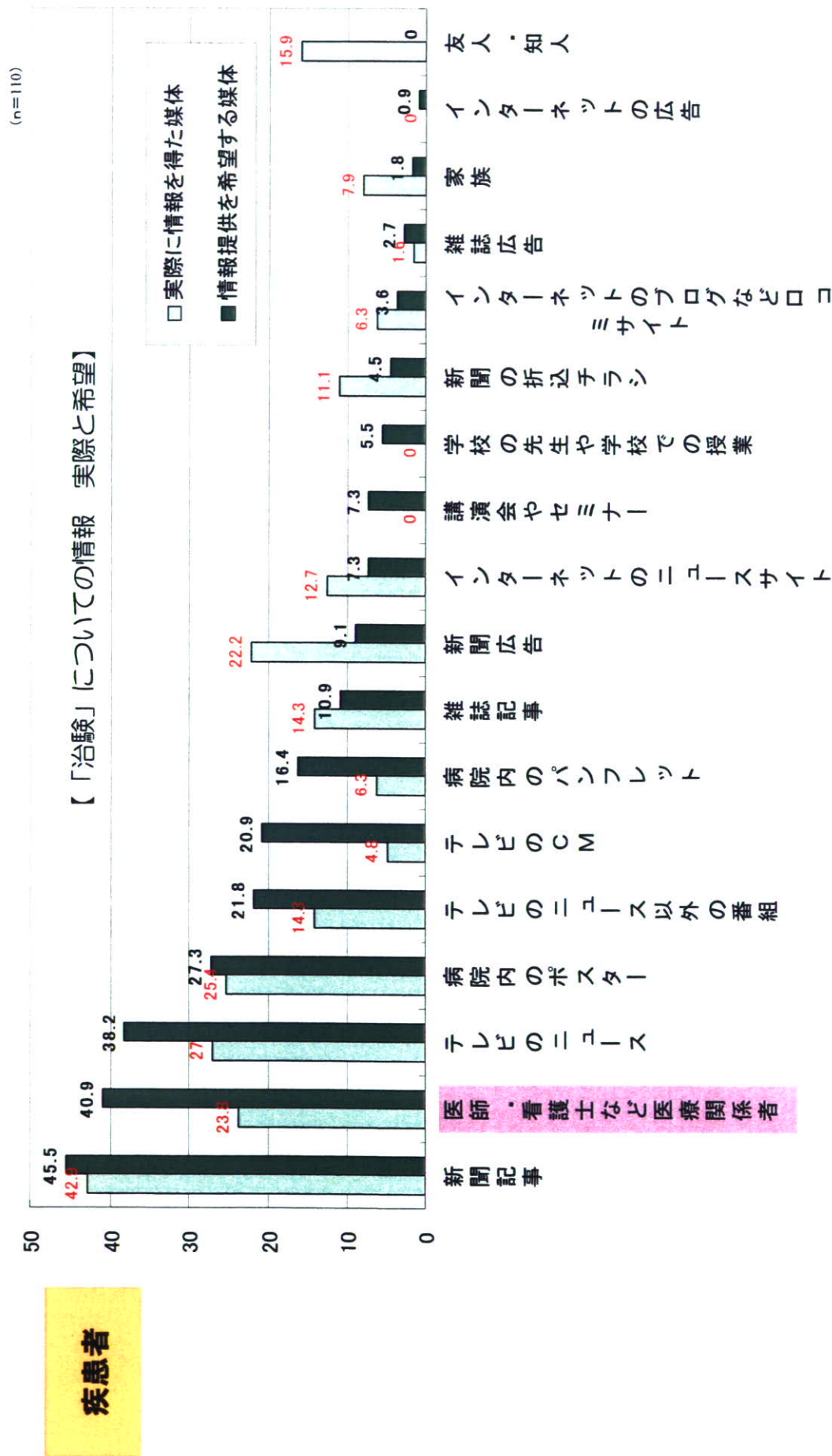
「治験」について実際に情報を得た媒体と情報提供を希望する媒体 <一般生活者>

- 現状と期待する媒体のギャップをみると、「新聞記事」や「テレビのニュース」は現状では情報源として低いですが、期待は高く、まずはマスコミの信頼ある情報が望まれているといえる。
- マスコミとともに「病院内のポスター」や「医師・看護師など医療関係者」も現状とのギャップが大きく、今後の情報提供が望まれている。



「治験」について実際に情報を得た媒体と情報提供を希望する媒体 < 患者 >

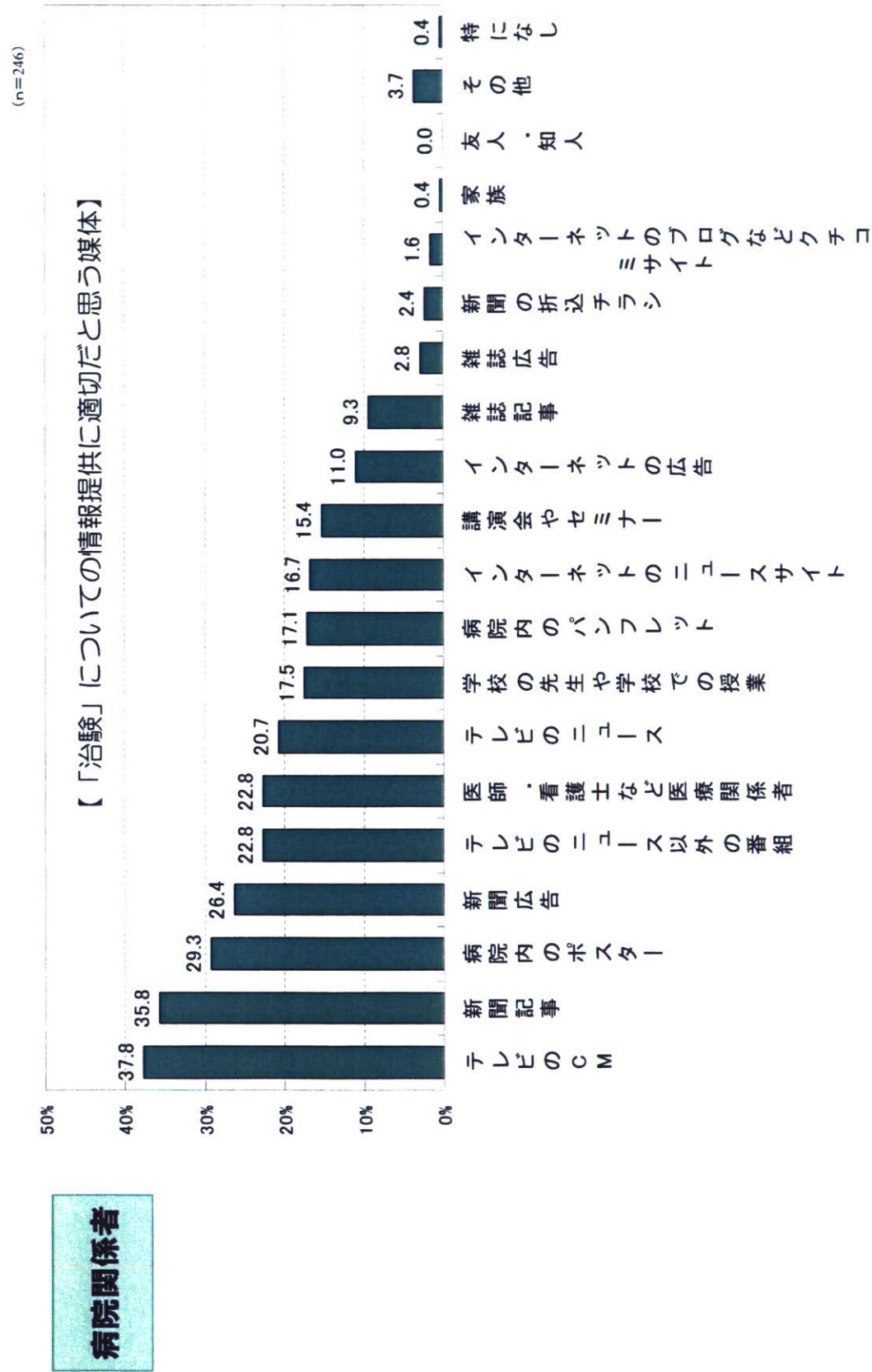
- 患者者において現状と期待する媒体のギャップをみると、「新聞記事」は現状でも重要な情報源であり、また今後も期待される媒体となっている。
- 「医師・看護師など医療関係者」は現状とのギャップが大きく、「新聞記事」とともに今後の情報提供が望まれている。



「治験」についての情報提供として適切な媒体 <医療関係者>

Q6 あなたは「治験」についての情報を一般生活者にどのような方法で知らせればよいと思いますか？以下の中から適切だと思うものを3つまで選んでください。

■医療関係者において、一般生活者に「治験」の情報提供をするのに適切な媒体を聞いたところ、「テレビのCM」「新聞記事」、次いで「病院内のポスター」が上位に支持されている。

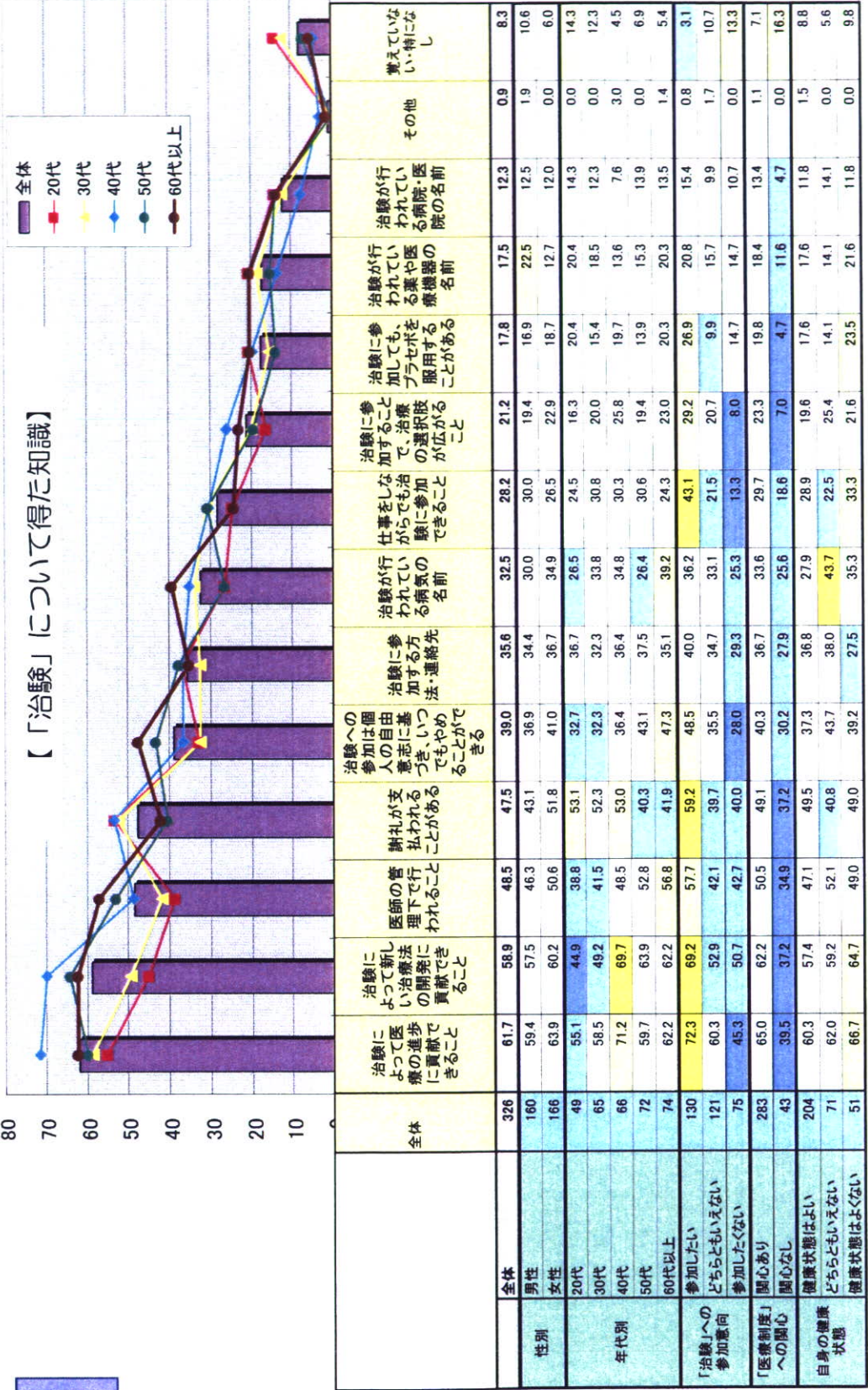


「治験」について得た情報
今後得たい情報

「治験」について得た知識 <一般生活者>

Q8 あなたは「治験」についての情報を得て、「治験」についてどのようなことを理解しましたか？以下の中からあてはまるものをすべて選んで下さい。

- 一般生活者が「治験」について得た知識・理解内容は、「医療の進歩に貢献できる」「新しい治療法の開発に貢献できる」が上位にきている。「実施機関名」や「治験が行われている薬・医療機器」などの情報摂取は低い。
- 年代別では、20・30・40代は、「謝礼が支払われる」という情報摂取が高い。

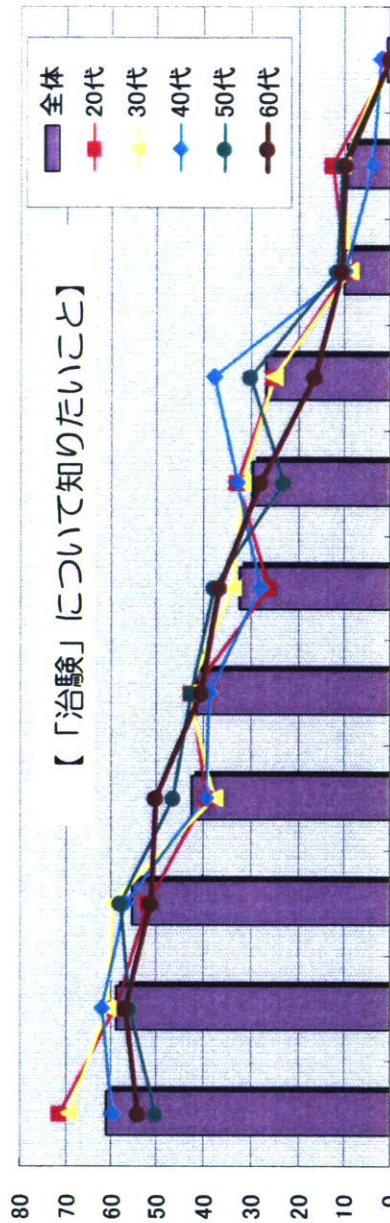


「治験」について知りたいこと <一般生活者>

Q14 あなたは、現在、「治験」について、どのようなことを知りたいと思いますか？以下の中からあてはまるものを5つまで選んで下さい。

- 一般生活者が「治験」について、今後知りたいことの上位は、「治験についての基礎的・一般的知識」「治験が行われている病気の名前」や「自分自身が追うリスク」などである。
- 年代別では、20・30代は、「基礎的・一般的知識」への要望が高い。また40代は他の年代に比べて「治験への参加方法・連絡先」を望む人が多い。

一般生活者



		全体	治験についての基礎的・一般的知識	治験が行われている病気の病名	治験に自分自身が追うリスク	治験が行われている薬や医療機器の病名	治験に参加して自分自身に得られるメリット	治験が行われている病院・医療機関の病名	治験に参加した際のスケジュールや拘束時間などの実施概要	治験に参加する方法・連絡先	治験に参加することで社会に貢献できること	特になし・わからない	その他
性別	全体	520	60.8	58.7	55.4	42.5	41.3	32.3	29.6	26.7	9.4	10.0	0.6
	男性	260	54.6	57.3	50.4	44.6	40.0	26.5	30.0	26.5	6.2	13.1	1.2
年代別	女性	260	66.9	60.0	60.4	40.4	42.7	38.1	29.2	26.9	12.7	6.9	0.0
	20代	104	71.2	58.7	51.9	39.4	42.3	26.0	32.7	25.0	12.5	9.6	0.0
	30代	104	69.2	60.6	59.6	37.5	43.3	33.7	31.7	25.0	10.6	8.7	1.0
	40代	104	59.6	61.5	56.7	39.4	38.5	27.9	32.7	37.5	3.8	9.6	1.9
	50代	104	50.0	55.8	57.7	46.2	42.3	37.5	23.1	29.8	10.6	11.5	0.0
「治験」への参加意向	60代	104	53.8	56.7	51.0	50.0	40.4	36.5	27.9	16.3	9.6	10.6	0.0
	参加したい	165	50.9	60.0	60.0	45.5	43.6	36.4	44.8	44.8	12.1	3.6	1.2
	どちらともいえない	194	68.0	60.3	53.1	39.2	44.8	32.5	30.4	26.8	7.7	9.3	0.5
	参加したくない	161	62.1	55.3	53.4	43.5	34.8	28.0	13.0	8.1	8.7	17.4	0.0
	関心あり	429	62.0	61.8	57.8	45.2	45.0	34.0	32.2	28.9	10.5	6.1	0.7
「医療制度」への関心	関心なし	91	54.9	44.0	44.0	29.7	24.2	24.2	17.6	16.5	4.4	28.6	0.0
	健康状態はよい	326	63.5	59.2	55.5	39.6	40.5	32.5	27.6	24.8	10.1	9.8	0.6
	どちらともいえない	116	57.8	50.0	52.6	42.2	44.8	28.4	27.6	26.7	6.9	12.1	0.0
自身の健康状態	健康状態はよくない	78	53.8	69.2	59.0	55.1	39.7	37.2	41.0	34.6	10.3	7.7	1.3

「治験」について得た知識 < 患者者 >

Q8 あなたは「治験」についての情報を得て、「治験」についてどのようなことを理解しましたか？以下の中からあてはまるものをすべて選んで下さい。

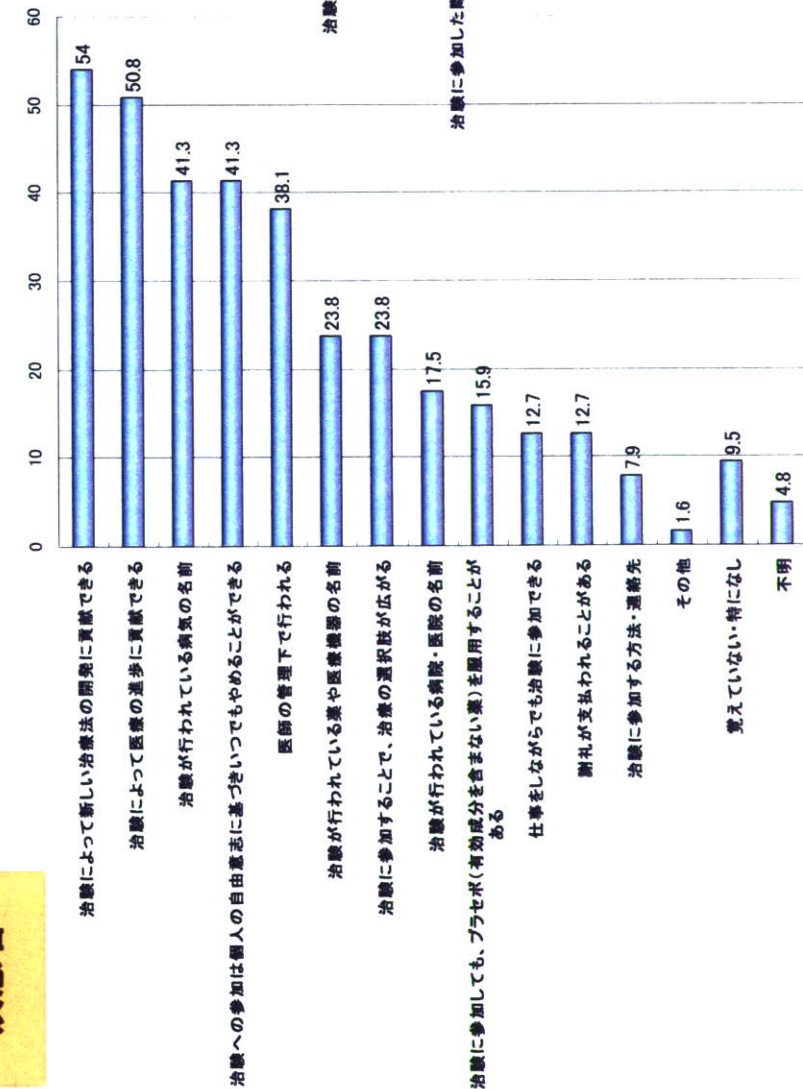
(n=110)

- 患者者が「治験」について得た知識・理解内容は、「新しい治療法の開発に貢献できる」「医療の進歩に貢献できる」に次いで「治験が行われている病気の名前」「個人の自由意志でいつでもやめることができる」となっている。
- 患者者が「治験」について、今後知りたいことの上位は、「治験についての基礎的・一般的知識」「治験が行われている病気の名前」や「自分自身が追うリスク」など、一般生活者と同じである。

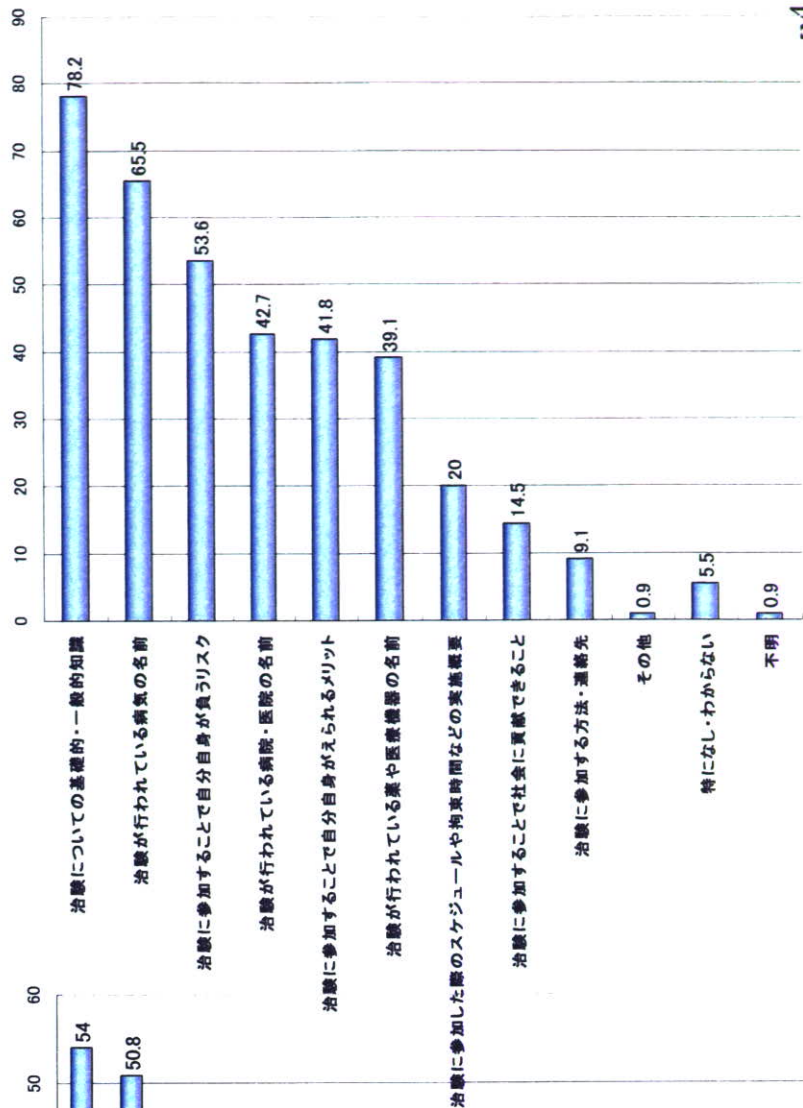
【「治験」について得た知識】



患者者



【「治験」について知りたいこと】



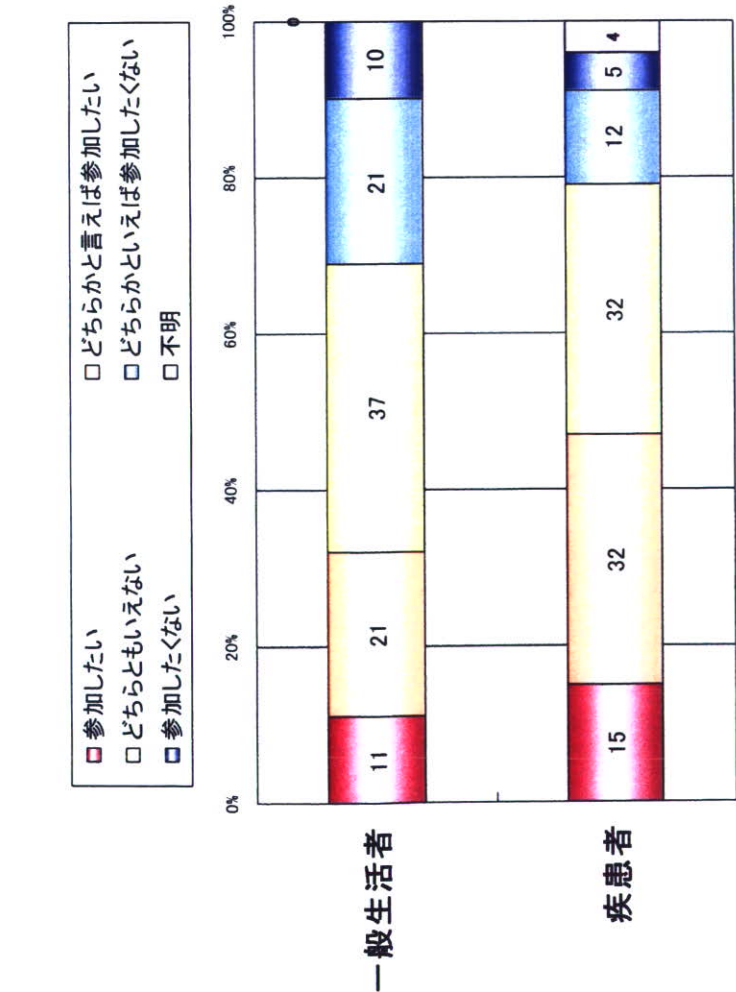
「治験」への参加意向、必要性

「治験」への参加意向

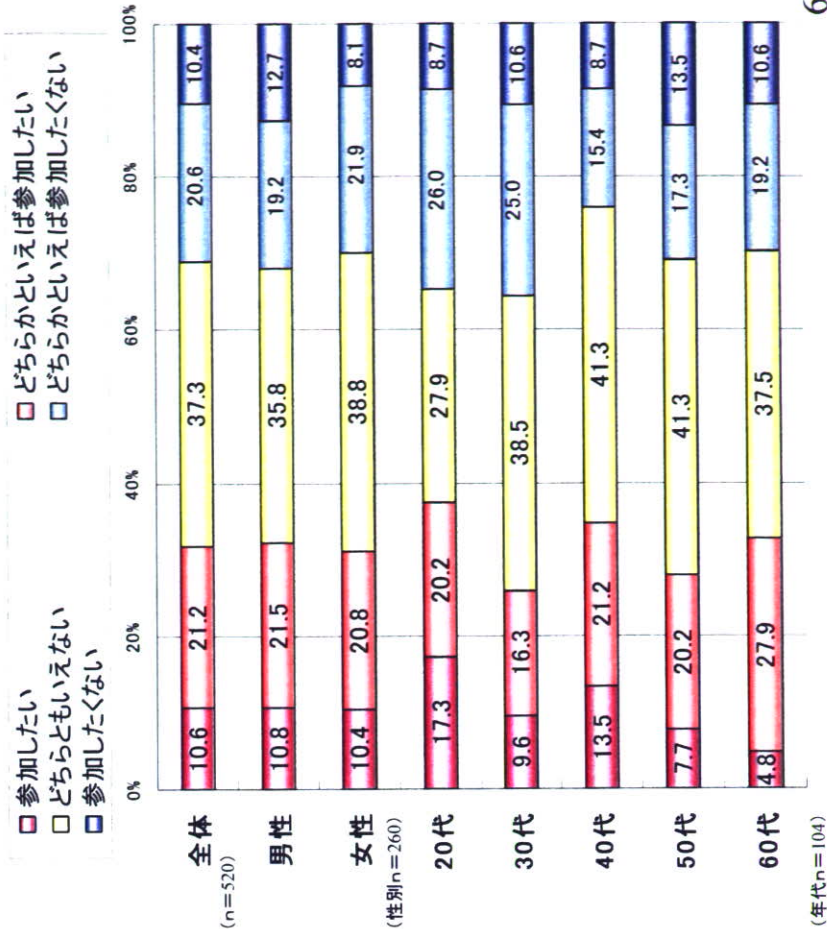
Q10 あなたは、今後、自分にあう条件の「治験」があれば参加したいと思いますか？お気持ちに近いいものをひとつだけ選んで下さい。

- 「治験」への今後の参加意向について聞いたところ、一般生活者は、参加意向あり(「参加したい」+「どちらかといえど参加したい」)は、32%。参加意向なし(「参加したくない」+「どちらかといえど参加したくない」)が31%、「どちらともいえない」が37%であった。年代別では20代と40代で「参加したい」と答えた人が多い。
- 患者の場合は、一般生活者よりも参加意向ありの人は多く47%と半数近くの人が賛同している。参加意向なしの人は17%である。

【「治験」への参加意向】



＜一般生活者 属性別＞



「治験」への参加意向の理由 <一般生活者>

一般生活者

参加したい

(n=165)

自分の治療のため

社会に貢献できる

謝礼金が高い

医学の進歩のため

興味がある

試しにやってみたい

安全性が確保されていれば

病気で困っている人のため

どちらともいえない

(n=194)

怖い

不安

副作用の不安

安全性が確認されていれば

リスクが伴う

病気になったら参加するかも

内容による

時間・場所に制限がある

参加したくない

(n=162)

怖い

副作用が怖い

安全性がわからない

リスクが伴う

実験台になりたくない

身体をこわしそう

アレルギー体質なので

薬を飲みたくない